

製品名: カルボキシペプチダーゼ A1/A2/B ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe84174**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ICC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ICC 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 47 kDa ; Observed MW: 44 kDa

抗原情報

遺伝子名	Carboxypeptidase A1/A2/B
別名	Carboxypeptidase A1+A2+B;;Carboxypeptidase A1/A2/B
遺伝子 ID	
SwissProt ID	P15085(抗原)/P15086/P48052
免疫原	ヒトカルボキシペプチダーゼ A1 由来の合成ペプチド

背景

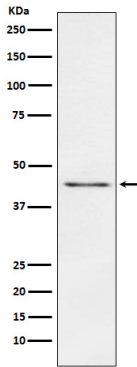
C末端アミノ酸の遊離を触媒するカルボキシペプチダーゼですが、-Asp、-Glu、-Arg、-Lys、または-Pro に対してはほとんど、ある

いは全く作用しません。アミド結合の加水分解を介してロイコトリエン C4 からロイコトリエン F4 への変換を触媒します。

研究分野

-

画像データ



マウス脾臓溶解物中のカルボキシペプチダーゼ A1 + A2 + B 発現のウェスタンブロット分析。